

IV. 地域・文化への貢献と農業振興

地域貢献活動



◇JA共済アンパンマン交通安全キャラバン開催

伊東市立東小学校体育館でJA共済アンパンマン交通安全キャラバンを開催しました。午前の部と午後の部で開催し、約1000人の親子が参加しました。アンパンマンたちが登場すると子供たちから歓声が聞こえてきました。イベントでは、交通ルールを呼びかけなどを行い、子どもたちは元気よく返事を、アンパンマンたちと一緒に体を動かしていました。



◇1支店1協同活動（下多賀支店）

JAあいら伊豆、熱海警察署、交通安全指導員、各関係団体から約50名が参加し、通学路の運転を注意するようドライバーに訴えました。参加した職員は、ドライバーに通学路での運転を注意するとともに、チラシやみかんを手渡していました。



◇1支店1協同活動（宇佐美支店）

宇佐美支店職員、支店運営委員、女性部の計27名が1月17日に開催された第50回伊東オレンジビーチ・マラソンでとん汁をもてなしました。約1年間遊休農地を活用し、栽培してきた大根やニンジン、里芋を使用し、具沢山のとん汁を振舞いました。冷え込んだ日に参加者や家族からは大好評で「体の芯から温まる」と喜びの声も聞こえてきました。



◇自然環境保全活動

毎年、青壮年部・女性部・役職員200名にて保全活動を行っています。今年度は、9月5日に伊東市の伊東オレンジビーチにて清掃を行いました。今後も継続して取り組んでいきます。

農業振興活動



◇トレーニングほ場での活動

●三の原トレーニング圃場でトレーニング生による収穫祭が実施されました。収穫祭は、今年で2回目になり、トレーニング生は1期生(3年目)2期生(2年目)3期生(1年目)の10名が参加しました。時間を見つけては毎日のように熱心に圃場へ通っており、今回無事に収穫祭を迎えることができました。夏野菜栽培に一段落したトレーニング生は早くも11月の収穫祭を目指し、秋冬野菜にチャレンジしていく予定です。



◇バケツ稲づくり

●宇佐美小学校グラウンドで、5年生の児童84名を対象に「バケツ稲づくり」を行いました。この活動は、これからの食や農を担う子供たちに、稲づくりを通して農の豊かさ知ってもらうことを目的として、実施する活動です。参加した児童の中には、泥に手を入れることに抵抗がある児童もいましたが、戸惑いながらも泥だらけになり、楽しそうに作業をしていました。



◇小学校へみかんを贈呈

●JAバンク教育活動助成事業の一環として、1月20日に熱海市、22日には伊東市の教育長を訪問し、みかんの贈呈を行いました。同JAで出荷された青島みかんを管内の小学生に食べてもらい、食と農への関心を持ってもらうことを目的に行われています。給食用のみかんとして、熱海市に150Kg、伊東市に350kgを贈呈しました。今後もJAあいら伊豆では、食育推進につながる取組みを実施していく予定です。